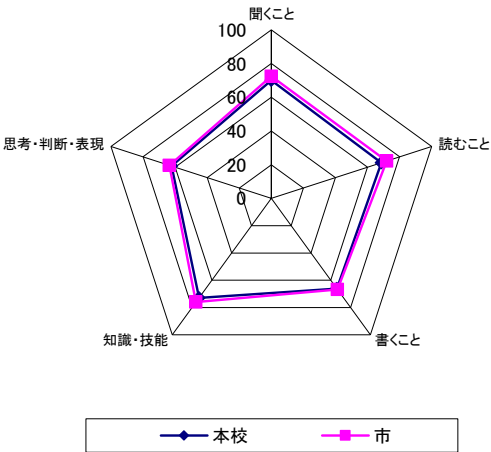


宇都宮市立雀宮中学校 第3学年【英語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	聞くこと	70.1	72.5	70.5
	読むこと	68.6	71.9	66.9
	書くこと	66.1	66.8	59.7
観点別	知識・技能	72.9	76.0	73.9
	思考・判断・表現	62.2	63.6	55.3

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
聞くこと	平均正答率は、3領域の中では最も高いが、市の平均を2.4ポイント下回っている。 ○約9割の生徒が、聞き取った英文に合う絵を適切に選ぶことができている。短い対話文の後に続く英文を選ぶ問題は、7～8割の正答率である。 ●絵を選ぶ問題は正答率が高いが、正しいグラフを選ぶ問題では、正答率が約3割と大幅に下がっている。また、聞き取った会話に続く英文を書く問題も正答率は4割と低い。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・授業の中でクラスルームイングリッシュを用い、英語を聞くことに慣れさせる。 ・聞かれた内容を理解し英語で答える力を付けるため、教員とのスモールトークなどを継続的に行う。 ・定期テストや単元末テストのリスニング問題も工夫し、グラフなど細かい情報を聞き取る力を身に付けさせたい。
読むこと	平均正答率は、参考値を1.7ポイント上回っているが、市の平均を3.3ポイント下回っている。 ○英文を読み、概要を捉えて適切なものを選ぶ問題は正答率が約9割と高い。 ●対話文の中で基本的な語法を使って答える問題は正答率7割程度であるが、その中で助動詞を問う問題は正答率5割程度と低い。また、メール文を読み、その内容をふまえて英文を完成させる問題も5割強の正答率であった。	・教科書本文を扱う際にも、概要を把握する活動や問いを取り入れ、英文読解に慣れさせる。 ・概要を把握するだけでなく、英問英答に対応できるよう、授業の中でも多くの問題に取り組ませたい。 ・英文を読むうえで単語が理解できているかが重要であるので、毎時の確認や単元ごとの単語テストなど、語彙力を高める活動を工夫する。
書くこと	平均正答率は、3領域の中では最も低い、参考値を6.4ポイント上回っている。 ○単語の並び替え問題は正答率平均8割程度と高い。テーマに沿ってつながりのある英文を書く問題も約8割の正答率である。 ●対話の流れに合った英文を正確に書く問題では、正答率が2～3割程度と低い。	・授業の中で、生徒が苦手としている語順問題等に関しては特に時間をかけて説明し、理解力を高める。 ・自分の考えを自由に書く活動などを単元の中で積極的に取り入れ、自分が伝えたいことを既習の文法や単語を使ってどのように表現していけば良いのか考えさせる。